



この人

「結婚して50年。病気療養中の妻が受賞を喜んでくれ、二人三脚で好きな研究を続けてきたことが何よりうれしい」。日本文化を研究する「日本学」の優れた業績に贈る第

日本学賞を受賞した皇室研究家

7回日本学賞に選ばれ、東京都内で開かれた贈呈式で受賞の喜びを語った。

日本学賞は元号「令和」の考案者で、日本文学者の中西進氏が理事長を務める日本学基金が創設。明治以降の天皇即位と改元の儀式を論じた「近代大礼関係の基本史料集成」（国書刊行会）を刊行するなど、日本の伝統的儀礼制度に関する長年の研究が評価され、令和初の受賞となった。

所さんは岐阜県出身。名古屋大大学院卒後、皇学館大学

ところ いさお
所 功 さん(77)

教員、文部省の教科書調査官、京都産業大教授を務める傍ら、半世紀にわたって宮廷儀式などの研究を続けてきた。

「1300年以上の歴史を持つ即位礼や大嘗祭だいじょうさいの伝統も持続と変化を繰り返している。大嘗宮も茅葺きかやぶや黒木造りが崩れつつあるが、儀式は1000年単位で考えると役に立つ。微力ながら貴重な宮廷文化を今後も国内外に発信していきたい」とますます意気盛んだ。

(吉原康和)

2019.11.28